



島崎公園



みんな  
で芝  
植え



親しみと愛着を持てる公園をみんなで作る

浜町地区の賑わいづくりに合わせ、より利用しやすく親しみを持てる公園を目指して整備した島崎公園において、6月23日、「芝植えイベント」を開催し、約250名の市民の皆さんに参加いただきました。

このイベントは、島崎公園に親しみと愛着をもっていたらこうと、市民の手づくりにより広場を緑一面に埋め尽くそうと実施したもので、公益財団法人日本サッカー協会が展開するグリーンプロジェクトにより芝の苗を無償提供いただき実現したものです。

参加いただいた皆さんは、グリーンプロジェクトを支援するNPO法人グリーンスポーツ鳥取理事の中野淳一さんから芝生の植え方の指導を受けた後、ポットから苗を丁寧に取り分けながら50cm間隔で植えつけていきました。約5,300㎡の広場に約22,000株の苗を植える大仕事にもかかわらず、たくさん市民のご協力により、予定時間の半分の1時間

ほどで完了しました。

城崎市長は「皆さんに植えていただいた芝生は、秋には生え揃い、雨の日は、隣の子育て支援センターや図書館で、晴れの日は、この芝生広場で遊んだり、お弁当を広げたりと、子どもからお年寄りまでご利用いただけます」とあいさつ。

参加された小谷紗世ちゃん(4)は「こけても平気。芝生でおにごっこがしたい」、多賀雄介さん(38)は、「子どもとキャッチボールをしに来ます。賑わいのあつ場所になれば嬉しい」、太田幸子さん(72)は「みんなが使える新しい公園としてスタートが切れていいと思う。桜もきれいなので見に来てほしい」とそれぞれ

れ芝生が生え揃うのを楽しみにされていました。

芝生広場は、しばらくは芝生保護のためご使用を控えていただき、芝生が生え揃う秋頃を目途に開放する予定です。是非ご利用ください。

(8月9日から18日までは一時的に開放する予定です)



# 宮津の未来に向けて行動しよう！

## 「宮津わかもの会議」に参加しませんか



実行委員による企画会議

「宮津市に関心のある若者世代が、宮津市の未来を描き、それを達成するために自分たちには何ができるのかを考え、行動に繋げる」ことを目的に、宮津市出身の福知山公立大学の学生が中心となり「宮津わかもの会議」実行委員会を立ち上げ、活動に取り組みられています。

平成30年12月には第1回宮津わかもの会議が開催され、宮津に関心のある高校生から社会人の若者が集まり、若者の目線で宮津の未来について語り合い、未来を実現するための30の行動を宣言しました。

今年度は、昨年度宣言したことを行動に繋げるための場として、第2回宮津わかもの会議を8月10日に開催します。

第1部では、城崎市長・山添与謝野町長をお招きし、宮津の未来について首長対談を、第2部では、30の宣言を行動に移すためのワークショップが開催されます。

見学のみの参加も大歓迎ですので、関心がある方はぜひご参加ください。

- ◎ 8月10日(土)10:00～17:00
- 所 福祉・教育総合プラザ3階 第1コミュニティルーム
- 対 宮津市又は宮津わかもの会議に関心のある方(年齢制限なし)
- 定 35人
- 受 8/7までにGoogleフォームで申込み  
※見学を希望される方も要申込
- 内 ○第1部(10:00～12:15)  
首長対談(宮津市長×与謝野町長)「市長・町長と考える宮津の未来」  
若者鼎談(公立鳥取環境大学院生×福知山公立大学生)「わかもの考える宮津の未来」  
○第2部(13:00～17:00)  
ワークショップ「30の宣言の実現に向けて」
- 問 「宮津わかもの会議」実行委員会 E-mail: miyazu.wakamono@gmail.com



申込 Google フォーム

## 2年連続！チャリティーカットの収益を図書で寄贈

ミズダム  
Misdorn

### ありがとうございました！



Misdornの皆さんと寄贈いただいた図書

右から「DDY・市田智大さん」  
「ウエマエ・上前裕司さん」  
「blugre・小牧治樹さん」

6月27日に、宮津市内3店舗の美容室で組織される団体「Misdorn」(代表 上前裕司氏)が、チャリティーカットによる収益金で児童図書30冊を寄贈され、その受け渡しに6月27日に図書館で行われました。

「Misdorn」は2017年11月に結成され、今回のチャリティーカットは2回目となります。

「チャリティーカットには多くの子どもさんに来てもらったので、子どもに喜んでもらえる図書を寄贈しました。たくさん読んでもらえたらうれしいです」と話されました。

## 宮津市防災会議を開催



6月27日、宮津市防災拠点施設で令和元年度第1回宮津市防災会議が行われ、宮津市地域防災計画の全面改定に対する意見交換や昨年度の災害を踏まえた関係団体の今後の災害時の対応等について議論や意見交換を行いました。

委員である村岡千鶴さん(民生児童委員協議会会長)は「指定避難所開設等の情報を早く得るために、みやづ情報メールの活用を推進したい。また、民生委員は地域に一人であり活動に限界があるため、地域のネットワークの協力が不可欠であり、自治会や地域の方、関係者の皆さんに協力をお願いしたい」と話されました。

本市としても住民の皆さんに「みやづ情報メール」により正確な情報を速やかに伝えたいよう努めてまいります。

※本誌裏表紙のQRコードからぜひ登録をお願いします。



優勝 宮津中学校

6月1日及び23日、宮津市民球場で第63回宮津市長杯争奪与謝地方中学校野球大会が行われました。この大会は昭和32年に始まり、市内の中学校野球の競技力向上と中学校間の親睦・交流を図るため、毎年開催され、平成21年第53回大会からは「与謝地方中学校野球大会」として、宮津与謝野球連盟の主催により開催しています。決勝戦は、7対1で宮津中学校が橋立中学校に勝利し、4年ぶり22回目の優勝をおさめました。



**公益社団法人京都府観光連盟  
観光功労者知事表彰**  
山本 大八朗さん (文珠)

橋立観光協会の理事として、地域の観光振興やまちづくりに取り組まれています。



**京都市行政監視行政相談センター所長感謝状受賞**  
山口 栄さん (江尻)

平成29年に行政相談委員に就任されて以来、市民と行政とのパイプ役として、行政に対する苦情や意見、要望を受け、その問題の解決や実現に貢献されています。



**令和元年安全功労者  
内閣総理大臣表彰**  
村岡 千鶴さん (江尻)

長年に渡り地域での児童の見守り活動や高齢者に交通事故の防止を呼びかけ交通安全指導を行うなど、交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をされています。

**ふるさと宮津応援寄附**  
～ご寄附いただき、ありがとうございました～

ふるさと宮津応援寄附として (5/26～6/25)

- ・2,311,000円：175件
- ※お名前の掲載は、市ホームページで公開させていただきます。

**東京 2020 オリンピック聖火リレー**  
～聖火ランナー募集～

オリンピック聖火は、平和や希望の象徴とされており、聖火ランナーがリレーによりつないでいきます。東京 2020 聖火リレーのコンセプトは「Hope Lights Our Way/ 希望の道を、つなごう。」です。京都府実行委員会では、2020年5月26日(火)、27日(水)に京都府を走行する聖火リレーランナーを募集しています。

- 【募集期間】 8月31日(土)まで
- 【応募要件】 2008年4月1日以前に生まれた方 京都府にゆかりがある方 など
- 【応募方法】 専用の応募フォームから申込み

応募フォーム

問 京都府スポーツ振興課  
☎ 075-414-4249

**世界大会出場**  
～おめでとうございます～

第9回世界シニアバドミントン世界選手権大会  
シングルス  
やまもと せいじ  
山本 清二さん (滝馬)

ワールドセーリング ユース世界選手権大会  
女子 420 級  
こばやし かな  
小林 奏さん (宮津高校 3年)  
しらすな つみ  
白数奈津見さん (宮津高校 2年)